

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

図柄について

着物や帯の図柄は自然界から影響を受けたものがほとんどです。天象模様、大地の草花、この地球の形を成す山、海、川、湖など、この地球に存在するありとあらゆる動物たち、鳥や昆虫にいたるまで、人間を取り巻く多くの種の姿は私たちの身近に感じる事が出来ます。人は絵を描く過程で、周りに見える動物の特徴を生かし表現します。動物の姿を借り洗練されたデザインも数多く生まれてきました。そしてそのデザインの持つ特徴や意味合い、楽しさがあります。

これからの和とくポイント

図柄「亀」「鶴」

最も有名で古来からある図柄ですが亀そのものの姿を描く事もあります。亀は長生きする動物と言われて長寿の象徴のように言われます。鶴は千年、亀は万年と言われるようにおめでたい時に亀は良く登場します。亀そのものの形では甲羅に苔を付けたり尾のようなものを付けて、いかにも万年も生きてるように描く事もあります。その亀の甲羅の形から亀甲模様はデザインとして独立して着物の柄によく使われます。この亀甲の六角形は安定した形で多くの動物界の中に存在しています。蜂の巣もそうですが六角形の形は壊れにくい強靱な構造なので自然界の中で多く生み出されるのでしょう。誰もが知っている亀甲は動物に借りた代表的な柄のひとつです。鶴は亀とセットのように鶴亀と言われ、これもお目出度い柄としてよく使われます。鶴はその姿が美しいので、立っている姿、飛ぶ姿、舞う姿など様々に描かれています。亀の甲羅の亀甲のように分解してデザインが独立していませんが、巣ごもりの姿も含めてそのままの形が美しく白い羽も清楚であり、優雅な柄として好まれます。似たような存在で、白鷺も美しい鳥の代表として描かれています。鶴が吉祥の鳥としてよく知られています。いかにもお目出度い、鶴と亀の極めつけのような柄ですね。



新春の
きもの装い



今年も
おめでたい
お正月に
なりたい

今日も
きもの
気分

やしま呉服店からのお知らせ

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。やしま呉服店では装いに最旬のトレンドを知って頂くためにも、もっとオシャレな商品を取り揃えて参りたいと思います。社員一同「お客様に着物を楽しんでいただきたい」という基本に心機一転し着物文化の伝承に取り組んで参りたいと存じます。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

❀ 1月の催事・イベント ❀

◎お年玉の市・・・4日(土)～6日(月)

◎ポーセラーツ教室・・・16日(木)

※各詳細のお問い合わせはお店まで

◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>



❀ さくらきもの学院 ❀ ※詳細は事務局まで

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

❀ レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科6回

・マイアップレッスン: 3,000円/回

・1dayレッスン: 500円/回

◎blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

